

**大学院人間・環境学研究科**  
**令和6年度第1回 修士課程入学者選抜試験（令和5年9月実施）に係る**  
**試験方法の変更について**

人間・環境学研究科では、令和5年4月からの組織改編を予定しており、現行の3専攻（共生人間学専攻、共生文明学専攻、相関環境学専攻）14講座から、1専攻（人間・環境学専攻）10講座に変更となります。これに伴い令和5年9月に実施する令和6年度第1回修士課程入学者選抜から、以下の変更を行います。詳細については令和5年4月下旬に公開予定の令和6年度第1回修士課程学生募集要項にて公表しますので、必ずご確認ください。

**○外国語科目**

令和5年4月からの組織改編以降も、現行制度と同じくA方式（試験第1日目に第1外国語、第2外国語の筆答試験を課す）、B方式（TOEFL/TOEICのスコア提出をもって外国語試験に替える）の2方式により試験を実施します。なお選択する第1志望教員により以下の①～③の変更があります。

① 第1志望教員に現 共生社会環境論講座所属教員（浅野、小畑、佐野（亘）、広井）を選択する場合の外国語科目試験実施方法

【現 行】B方式

【変更後】A方式

〈受験生一般〉

英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・イタリア語・中国語・スペイン語・アラビア語・朝鮮語のうちから第1外国語と第2外国語を選択

（第1外国語に英語を選択する場合、第2外国語に第2外国語用の英語問題を選択することができる。これ以外の場合において第1外国語、第2外国語に同一科目を選択することはできない。）

〈外国人留学生〉

第1外国語：日本語B（一般的な内容）

第2外国語：上記9カ国語のうちから選択

② 受験生一般（外国人留学生以外）が第1志望教員に現 人間社会論講座所属教員のうち松本を選択する場合の第1外国語、第2外国語

【現 行】第1外国語に英語を選択する場合、第2外国語として第2外国語用の英語問題を選ぶことができる。

【変更後】第1外国語、第2外国語に同一科目を選択することはできない。

③ 外国人留学生が第1志望教員に現 歴史文化社会論講座所属教員のうち辻、松江、福谷を選択する場合の第1外国語

【現 行】日本語A（より高度な内容）又は日本語B（一般的な内容）から選択

【変更後】日本語B（一般的な内容）

**○専門科目**

現在の14講座が新たに10講座となることに伴い、専門科目についても再編成を行うこととなりますが、受験にあたっては従前通りの学修で対応可能な範囲での出題を予定しています。

新たな科目設定については、令和5年4月下旬公開予定の学生募集要項にてお知らせする予定です。

問い合わせ先

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大学 大学院人間・環境学研究科 大学院掛（電話：075-753-2951）